

# 令和元年度事業実績報告

(平成31年4月～令和2年3月)

## 1. 概要

少子・高齢化の進展により労働環境が複雑化している状況のもと、全国的にシルバー人材センターを取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しています。政府が進める高齢者就業施策により、現在65歳までとされている企業における雇用確保措置を70歳まで延伸する措置の提唱がなされようとしています。センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うためにも、会員の拡大が今後の重要な課題であると考えます。当センターは、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を引き続き推進し、派遣事業を中心とした新たな就業機会の確保に努めました。高齢者も、貴重な労働力として捉えられ、国のシルバー人材センターに対する期待はますます大きくなっています。令和元年度実績は、受託件数、受託契約額とも、前年度実績を上回りました。数年前より受注している外国人実習生の日本語学習の講師など発注者のニーズがますます多様化してきており、対応できる会員の確保が課題となっています。高齢化社会の受け皿となるシルバー事業を目指し、今後もシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもとに、社会経済環境の変化に的確に対応していきます。安全就業と地域社会に密着した就業機会の確保・提供を行い多くの会員に配分できるよう、会員、役職員が一丸となって、魅力あふれるシルバー人材センターを構築し、更なる発展に向けて努めてまいります。

令和元年度の主な事業について報告いたします。

### (1) 就業開拓提供事業

会員への就業の機会の提供を行うため、発注者のニーズに対して的確な対応を行いつつ、新たなる受注先の確保に傾注しました。請負・委任・派遣の形態を考慮し広く活躍できる場の拡大に努力しました。

剪定、草刈、大工仕事等の受注が大幅に増加し、契約額は、派遣事業を含め40,489千円と目標額の38,900千円をクリアすることができました。会員拡大については、第3次中期基本計画の159人という目標は惜しくも達成できませんでしたが、年度末会員数152名（前年度比1名減）とほぼ横ばいとなりました。今年度も加齢、病気、介護といった理由から退会希望者は後を絶たない状況が続いており、今後の対策が急務です。就業実人員は123人、就業率も、若干向上しましたが、80.92%にとどまりました。受注件数は、派遣事業を含め754件（前年度比30件増）、就業延人日は請負で6,414人日（前年度比229人日減）、派遣で1,267人日（前年度比133人日増）、合計で7,681人日（前年度比96人日減）となり、どちらも目標未達となりました。独自事業につきましては、マコモ・わら飾りの販売額682千円（前年比83千円減）、ミニ門松の販売額は88千円（前年比4千円増）となりました。

《令和元年度目標〔第3次中期基本計画（2年目）〕》

- ・ 会員数 159名 (年度末会員数)
- ・ 就業延人日 8,010人日 (派遣、独自事業含む)
- ・ 契約額 38,900千円 (派遣、独自事業含む)
- ・ 就業率 94.3%
- ・ 受注件数 820件 (受託件数 940件)

＜独自事業製作販売目標＞

- ・ マコモしめ飾り 315個 わら飾り等 630個  
目標販売額 765千円
- ・ ミニ門松 65個 目標販売額 85千円

《令和元年度事業実績》

- ・ 会員数 男性会員103名 女性会員49名 合計152名
- ・ 就業延人日 7,681日  
(請負 6,414人日 派遣 1,267人日)
- ・ 契約額 40,489千円  
(請負 35,469千円 派遣 5,020千円)

請負契約内訳

公共事業	143件	10,500千円
民間企業等	83件	6,633千円
民間家庭	656件	17,565千円
独自事業	2件	771千円

派遣契約内訳

公共事業	2件	1,239千円
民間企業等	8件	3,781千円

- ・ 就業率 81.58%
- ・ 受注件数 754件 (請負744件、派遣10件)  
(受託件数 894件 請負884件、派遣10件)

＜令和元年度独自事業実績＞

- ・ マコモのしめ飾り 268個 わら飾り等 590個  
販売実績 682千円
- ・ ミニ門松 68個 販売実績 88千円

## (2) 普及啓発事業

今年度はシルバーお仕事相談会を毎月1回中央公民館にて開催し（3月は中止）、入会案内や就業相談などを実施しました。また例年同様、広報紙（岩美町シルバーだより）を年3回発刊し町内全戸に配布、安全・適正就業開拓推進員がチラシやパンフレットを配布し、センターのアピールと入会勧誘を行いました。高齢者（会員含）に向

けて連合会が主催する講習会の案内や申込書を事務所に掲示して受講促進に努め、ホームページによるシルバーの紹介も引き続き行いました。また、全国シルバー普及啓発月間（毎年10月）に併せてポスターの掲示及びボランティア活動を行いアピールに努めました。独自事業として製作販売している正月飾りの町内外への周知と販路の拡大を目的として、昨年に引き続き、道の駅「きなんせ岩美」での販売を実施し、シルバー人材センター事業のアピールができました。

《令和元年度普及啓発活動実績》

- ・シルバーだよりの配布 4,000部×年3回  
(平成31年4月、令和元年10月、令和2年1月)
- ・安全・適正就業開拓推進員によるチラシ配布 125部
- ・普及啓発月間〔10月1日～10月31日〕  
(月間実績 ポスター掲示、ボランティア活動)
- ・シルバーお仕事相談会 11回開催（令和2年3月は中止）
- ・正月飾り販売（道の駅「きなんせ岩美」）

### （3）安全・適正推進事業

就業における安全確保や健康維持・増進は最優先課題であります。また、厚生労働省が示した適正就業ガイドラインを活用し、センターでの正しい働き方について理解、協力を求め安全・適正就業の徹底を図りました。会員の安全を守るため、年間を通して安全・適正就業開拓推進員による現場のパトロールも引き続き行いました。安全就業はシルバー事業の根幹であり、ヘルメットの着用の義務付け、安全帯の使用等の指導、個々の意識の高揚を図りました。県連合会の安全パトロールを3月に行いました。令和元年度傷害事故は発生しませんでした。損害賠償事故が1件発生しました。今後も安全就業を第一に、事故ゼロを目指していきます。また、適正就業調整委員会を開催し、適正就業要綱に基づいて、募集先の決定、就業者の見直しを図り、令和元年度就業募集の公平化を進めました。令和元年度の派遣を含めた就業実人員は124名となりました。

《令和元年度実績》

- ・安全・適正就業パトロール 7回 22現場
- ・安全就業の手引き配布（草刈・剪定等新規就業会員）
- ・入会者の健康チェック表 入会者 15名
- ・事故報告 傷害事故 なし  
損害賠償事故 1件（草刈り作業中の飛び石によりガラス破損）
- ・県連合会安全パトロール（令和2年3月） 吉村連合会指導員

### （4）社会活動の推進

社会奉仕活動として、観光シーズン間近の7月とシルバー月間である10月にボランティア活動を実施、町役場周辺の除草作業、各地区公共施設の除草作業、海岸清掃など多くの会員が参加し、地域の方に喜んでいただけました。

年末には、公共施設等への門松寄贈も行いました。

## 《令和元年度実績》

### ・ボランティア活動

7月 4日 (公共施設7ヶ所) 参加会員 61名<剪定、除草、清掃>

10月28日 (公共施設3ヶ所) 参加会員 40名<剪定、除草、清掃>

### ・門松寄贈

12月27日 (公共施設等8ヶ所)

参加会員 16名<材料調達、設置、撤去>

## (5) 労働者派遣事業

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として事業主から直接指揮命令を受けることとなる就業について派遣事業を推進しました。海水浴場管理業務、介護施設の運転業務、トイレ清掃、宿泊施設客室清掃を受注し、就業延人日においては、1,267人日(前年比133人日増)、契約額は5,020千円(前年比542千円増)となりました。

## (6) 職業紹介事業

令和元年度の有料職業紹介の実績はありませんでした。今後、シルバー相談会等を利用し町内企業へのアピールを強化し、事業推進に努力します。